

## 赤川耕一氏文書概要

1:文書群番号	103003-1
2:文書群名	赤川耕一氏文書
3:出所	赤川耕一家
4:家業・役職等	塩商「塩屋」
5:地名	摂津国川辺郡尼崎築地町／兵庫県川辺郡尼崎町／内尼崎町／尼崎市築地本町ほか
6:行政区分	尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼ヶ崎町／尼崎市
7:歴史	<p>旧築地宮本町にあった赤川家は元来屋号を「塩屋」といい、塩商売を営んでいた。</p> <p>尼崎築地町は、元和4年(1618)尼崎城築城の開始により旧来の中国街道が分断されたので、城の南側の小島・葭島に街道を付け替える工事をおこない、両島が大黒橋で結ばれ、寛文4年(1664)同地に築地町が完成した。当町の北の浜筋には材木屋がならび、南の大浜地先には漁師町と網干し場があった。明和6年(1769)惣間口397間(ほかに古地1148間余)、明治2年(1869)には家数607軒。</p>
8:伝来	<p>平成15年、築地地区の災害復興土地区画整理のため、赤川耕一氏自宅が撤去、同所に保管されていた本文書群が史料館へ寄贈された。</p>
9:史料入手先	赤川耕一氏
10:点数	31
11:年代	文久3年(1863)～昭和16年(1941)
12:構造と内容	<p>本文書群は旧築地宮本町の赤川耕一氏宅に所蔵されていた文書で、主に幕末～昭和の築地宮本町の金銭出入り帳簿、明治以降の赤川家の土地関係証書・書類等からなる。他に新聞記事など。</p>
13:関連史料	-
14:閲覧条件	原本
15:作成者	河野 未央